

農産物の出来栄え競う

<野菜・雑穀共進会>

平成28年度町野菜・雑穀共進会は10月21日から23日までの3日間、モウモウ館で行われ、ほうれんそう23点、キャベツ10点、はくさい12点、だいこん8点、大豆・小豆6点の計59点が出品されました。

八幡平農業改良普及センター岩手駐在の千田裕主査農業普及員が審査を行い、金賞1点、銀賞5点、銅賞7点の計13点を選定。共進会の出品物は23日まで一般公開された後、即売されました。入賞者は次のとおりです(敬称略)。

▶金賞

ほうれんそう 川原 タカ(名前端)

▶銀賞

ほうれんそう 下橋場うめ(橋場)

ほうれんそう 小屋畑真理子(山岸)

はくさい 鹿糖 一正(橋場)

だいこん 小屋畑孝喜(山岸)

大豆・小豆 三好 福子(小屋瀬)

▶銅賞

ほうれんそう 橋場 廣美(小田)

ほうれんそう 鈴木 直身(小屋瀬)

ほうれんそう 鈴木 直身(小屋瀬)

キャベツ 入月 俊昭(橋場)

はくさい 坂井 マサ(境の沢)

だいこん 近藤 トキ(小田)

大豆・小豆 坂井 喜一(境の沢)

※各品目とも一人2点まで出品可



入念に審査する千田普及員



多くの方が訪れた一般公開



福引大抽選会で見事1等の5万円分の商品券をゲットしたご家族

▶森林組合によるチェーンソーアート「ふくろうの家」



▲自衛隊特殊車両の体験コーナー

▶古着回収コーナーでお仕事体験に取り組む子どもたち



まつりを盛り上げた多彩なステージイベント



1 NHKキャスター渡邊真佑子トークショー 2 Kanaloa fula 葛巻教室によるフラダンス 3 盛岡大学フリースタイルダンスステージ 4~6 葛巻保育園児によるかわいらしい演技 7 岩手大学アカペラサークル 8 ことりさわ学園による和太鼓演奏 9 J A女性職員による華麗な舞 10 J A畜産トリオによる「サボテンの花」 11 J A男性職員によるポッキーダンス 12 J A女性部による花笠音頭



大盛況

具だくさんの「千人鍋」の豚汁が今年も登場！販売開始に合わせて、ふたを取ると湯気とともにおいしそうな香りが漂い、並んでいたお客さんから歓声が上がりました



テープカットでまつりが開幕



多くの親子連れでにぎわう釣り堀(屋台村)

初日のオープニングセレモニーで鈴木重男町長のほか、町民憲章推進協議会の中村哲雄会長、町議会輝くふるさと常任委員会の鈴木満委員長ら関係者によるテープカットで2日間のまつりが幕を開けました。会場の内外では、この秋収穫された野菜や果物、冬に備えられたほか、自衛隊特殊車両などの乗り物体験コーナーや動物とのふれあいコーナーには子どもたちが大勢詰め掛けました。ステージイベントでは葛巻保育園児がかわいらしい演技を披露。被災地復興支援として千人鍋の豚汁が1杯100円で提供されたほか、自衛隊特殊車両などの乗り物体験コーナーや動物とのふれあいコーナーには子どもたちが大勢詰め掛けました。ステージイベントでは葛巻保育園児がかわいらしい演技を披露。

露したほか、NHKの渡邊真佑子キャスターによるトークショー、J Aふれあい芸能まつり、民謡・歌謡ショーなどが行われ、まつりをより一層盛り上げました。子どもが商品販売などのお仕事体験に取り組む「くずまきスワーキング」には、多くの児童が参加。楽しみながら仕事を体験し、会場内で使える商品券をゲットしていました。今年で4年目となる古着回収コーナーには、約370kgの衣類が持ち込まれ、古着専門店の「ドンドンダウン」に引き渡されました。※生涯学習フェスティバルの様子は16ページ「まなびの森」に掲載しています。

くずまき町民まつり

町の産業と芸術文化が一堂に、多彩な催しで町の魅力を発信

第42回くずまき町民まつり(産業まつり、生涯学習フェスティバル)は、10月22日と23日の2日間、社会体育館とモウモウ館で開催されました。ステージイベントや体験コーナーなど多彩な催しが行われ、晴天に恵まれた会場には、延べ約5700人が訪れ、活気にあふれました。